

日本美しい森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはずです。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林につまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、
全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。

※嵐山国有林の内部は、急傾斜で落石等の危険があるため、一般の方の立ち入りはできません。渡月橋や天龍寺等の寺院の背景林として外からの眺めをお楽しみください。



天龍寺曹源池庭園からの紅葉



大堰川上流から望む渡月橋



渡月橋と嵐山

嵐山風景林 アクセスMAP



アクセス方法

公共交通機関の場合：

- 京都駅(地下鉄烏丸線:約5分)→烏丸御池駅(地下鉄東西線:約10分)→太秦天神川駅・嵐電天神川駅(京福電鉄嵐山線:約15分)→嵐山駅(徒歩:約5分)→嵐山風景林
- 阪急梅田駅(阪急京都線:約35分)→桂駅(阪急嵐山線:約10分)→嵐山駅(徒歩:約5分)→嵐山風景林
- 京都駅(JR嵯峨野線:約20分)→嵯峨嵐山駅(徒歩:約15分)→嵐山風景林

車の場合：

- [名神方面] 京都縦貫自動車道 大原野IC→嵐山風景林(約8km)
- [福知山方面] 京都縦貫自動車道 沓掛IC→嵐山風景林(約8km)

※嵐山周辺は混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。

嵐山風景林

住所：京都市西京区嵐山元録山町

お問い合わせ先：

林野庁近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
電話番号：075-414-9822

林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

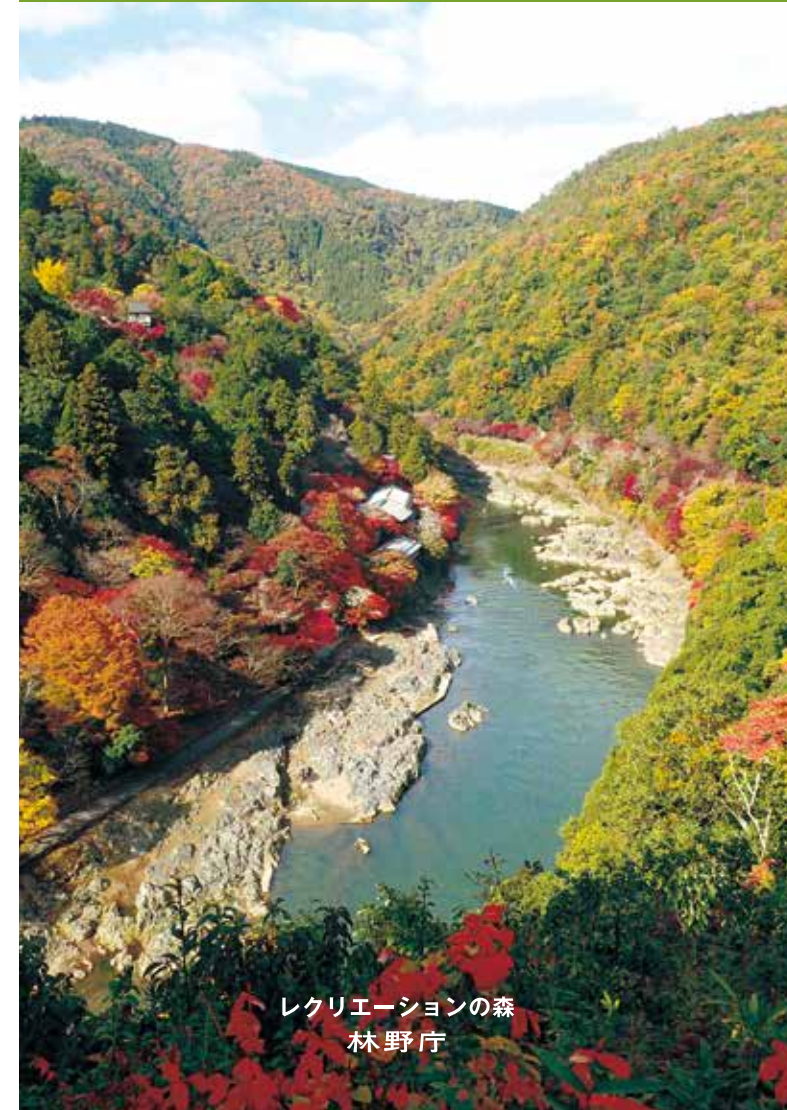
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html



Recreation
Forests of JAPAN

京都
あらしやま
嵐山
風景林

古都を代表する景勝地にそびえる山



レクリエーションの森
林野庁

平安貴族に愛された名勝嵐山の四季を彩る 森林 山・川・橋のハーモニー



嵐山の桜



亀山公園展望台



嵐山紅葉



渡月橋と嵐山

地理的・地形的特徴

京都市の西部を流れる大堰川右岸に位置しており、渡月橋から上流左に見える森林のほぼ全域が嵐山風景林です。斜面の平均勾配は30度を超える急峻な地形です。



渡月橋からの嵐山

歴史的・文化的特徴

景勝地としての「嵐山」は、7世紀、桓武天皇(737-806年)の御行幸の頃から当時の都人の遊興の地として始まり、その美しさは、四季折々の変化に富む「嵐山」、清流をたたえる「大堰川」、優雅な姿をとどめる「渡月橋」の調和美であるといわれています。特に、古くから紅葉の名所として知られ、「大井川ふるぎ流れをたづねきて嵐の山のもみちをぞ見る」(白河上皇(1053-1129年))、「吹きはらふ紅葉のうへの霧はれて峯たしかなる嵐山かな」(藤原定家(1162-1241年))など、嵐山は古くから歌枕として多くの歌に詠まれています。その後、13世紀末に、後嵯峨上皇(1220-1272年)が離宮(亀山殿)造成にあたって吉野からサクラ数百株を移植し、サクラの名所となりました。「あらし山これも吉野やうつすらん桜にかかる滝のしら糸」(後宇多上皇1267-1324年)などの歌も詠まれています。その後、天龍寺の開祖である夢想国師(疎石)(1275-1351年)も吉野からヤマザクラ数千本を移植したと言われています。

気候等と植生・野生生物

一部にスギ、ヒノキが植栽されていますが、大部分が高齢級の天然林で、カエデ、ケヤキ、サクラ、アラカシのほか、尾根筋にはアカマツが生育しています。



嵐山紅葉

楽しみ方

春は桜、秋は紅葉など、渡月橋、大堰川と渾然一体となった景観美が楽しめることはもちろん、大堰川対岸の亀山公園からは、平安時代とほぼ変わらないといわれる保津峡の渓谷美が一望できます。また、嵐山を借景とした曹源池庭園がある世界文化遺産の天龍寺などの名刹、野生の猿とふれ合える嵐山モンキーパークいわたやま、平安貴族のお船遊び気分を味わえる屋形船や貸しボートなどがあります。



春の嵐山と船遊び

施設情報

- 面積 59.89ha
- 宿泊 嵐山周辺地、京都市街地に宿泊して楽しむことができます。
- 駐車場 近隣に民間駐車場があります。

※嵐山国有林の内部は、急傾斜で落石等の危険があるため、一般の方の立ち入りはできません。渡月橋や天龍寺等の寺院の背景林として外からの眺めをお楽しみください。